

科目名	保育内容（健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	1	後期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 乳幼児期は、生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期である。この重要な時期である乳幼児が「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」ための発育発達に応じた援助の基本や、保育者としての健康のあり方の基礎を学ぶ。							
到達目標 ・領域「健康」のねらい、内容を理解する。 ・乳幼児期の子どもたちの心とからだの健やかな育ち、安全な生活のための保育者としての基本的知識と視点を習得し、保育者の役割を理解する。 ・作成した指導案をもとに実践を行ない、環境構成や遊びの展開方法、子どもの意欲を引き出す支援方法を理解する。				成績評価方法 ・定期試験 ・提出物（課題含む） ・演習（グループ活動） 以上を総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		20
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション（授業概要、諸注意等のガイダンス）							
領域「健康」とは何か							
2) 子どもの育ちと領域「健康」							
幼児期の健康な生活とは							
3) 子どもの「健康」をめぐる現状と課題							
4) 子どもの身体の発達と運動能力							
子どもの身体の発達							

5) 子どもの身体の発達と運動能力	
運動能力と動きの獲得	
6) 領域「健康」のねらいと内容	
(保育所保育指針、幼稚園教育要領)	
7) 領域「健康」と他領域との関係	
他領域と領域「健康」のつながり	
8) 前半の学びのふりかえり (小テスト)	
幼児期にふさわしい運動とは	
9) 健康と安全教育	
10) 運動意欲を育む保育について考える①	グループ活動
11) 運動意欲を育む保育について考える②	グループ活動
12) 運動意欲を育む保育を実践する①	演習
子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション	
13) 運動意欲を育む保育を実践する②	演習
子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション	
14) 運動意欲を育む保育を実践する③	演習
子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション	
15) 子どもの健康における保育者の役割	
授業のまとめ、授業評価アンケート	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事や保育雑誌等をよく読み、子ども、あるいは自分自身の健康に関する事柄の理解を広げましょう。 ・グループ活動においては、授業の空き時間等を使い活動を進めてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「事例で学ぶ保育内容 領域健康」無藤隆監修・倉持清美編者代表 (萌文書林) ・「幼稚園教育要領解説」文部科学省 (フレーベル館) ・「保育所保育指針解説書」厚生労働省 (フレーベル館) ・「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) <p>新聞記事や雑誌の内容を資料として適宜配付する。</p>	小児体育 I ～IV
備考	
<p>グループ活動では、指導案の作成や教材作製等を行いません。人任せにするのではなく、積極的に主体的に取り組むことを望みます。</p> <p>【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp</p>	